

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成26年2月6日

**【四半期会計期間】** 第86期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

**【会社名】** フジオーゼックス株式会社

**【英訳名】** FUJI 00ZX Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 深谷研悟

**【本店の所在の場所】** 静岡県菊川市三沢1500番地の60

**【電話番号】** (0537)35-5873

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 野地俊広

**【最寄りの連絡場所】** 静岡県菊川市三沢1500番地の60

**【電話番号】** (0537)35-5873

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 野地俊広

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第85期 第3四半期 連結累計期間	第86期 第3四半期 連結累計期間	第85期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	11,798,246	11,838,187	15,939,679
経常利益	(千円)	1,038,937	1,247,170	1,418,053
四半期(当期)純利益	(千円)	638,038	987,245	839,559
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	636,085	1,224,208	1,079,571
純資産額	(千円)	20,270,729	22,163,160	20,714,215
総資産額	(千円)	23,047,830	25,535,161	23,962,985
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	31.05	48.05	40.86
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	87.4	84.3	85.8

回次		第85期 第3四半期 連結会計期間	第86期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	9.50	13.74

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社企業集団において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(自動車部品製造)

平成25年9月にPT.FUJI 00ZX INDONESIAを設立し連結子会社としております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済の状況は、米国の景気が穏やかな回復基調にありますが、中国をはじめとする一部新興国の経済成長の鈍化や、欧州経済の長期低迷など世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

一方、わが国の経済状況は、金融政策による円高是正や各種政策による経済成長への期待から景気回復の兆しが伺え、景況感は改善されたものの、海外景気の下振れリスクの懸念や、消費税増税などに対する景気後退リスクなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界では、円高の是正から輸出は回復傾向が見られ、国内需要もエコカー補助金終了に伴う需要低迷から穏やかな持ち直しの動きがみられます。

このような状況の中で当社グループは、新たな成長を目指し将来を見据えたグローバル体制の構築や新技術・新工法の開発に加え、現場力の強化を図り、生産効率の向上やコスト削減にも取り組み競争力を高め、収益改善に努めました。

これにより、売上高は11,838百万円（前年同期比40百万円増）、営業利益は877百万円（前年同期比110百万円減）、経常利益は1,247百万円（前年同期比208百万円増）、四半期純利益は987百万円（前年同期比349百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 自動車部品製造

当セグメントにおきましては、円高是正に伴う海外向け需要の高まりや、エコカー補助金終了に伴う国内需要低迷からの穏やかな持ち直しがみられ、売上高は11,270百万円（前年同期比104百万円増）、セグメント利益（営業利益）は799百万円（前年同期比108百万円減）となりました。

## 流通

当セグメントにおきましては、全般的に自動車部品関連は堅調に推移しましたが、主要顧客の内製化に伴い取引量が減少したため、売上高は568百万円（前年同期比64百万円減）、セグメント損失（営業損失）は12百万円（前年同期比12百万円減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は25,535百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,572百万円増加しております。

### （流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は15,006百万円と前連結会計年度末に比べ131百万円減少しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・商品及び製品等のたな卸資産が223百万円増加しております。
- ・流動資産（その他）に含まれる仮払金が199百万円増加しております。
- ・固定資産の取得及び法人税の支払等により現金及び預金が567百万円減少しております。

### （固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は10,529百万円と前連結会計年度末に比べ1,703百万円増加しております。

### （流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は3,084百万円と前連結会計年度末に比べ37百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・支払手形及び買掛金が178百万円増加しております。
- ・未払法人税等が550百万円減少しております。
- ・流動負債（その他）に含まれる設備支払手形が150百万円増加しております。
- ・流動負債（その他）に含まれる未払金が310百万円増加しております。

### （固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は288百万円と前連結会計年度末に比べ86百万円増加しております。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は22,163百万円と前連結会計年度末に比べ1,449百万円増加しております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は132百万円であります。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の見通しにつきましては、円高の是正や株価の持ち直しなどの動きから景気回復が期待される一方で、中国経済の成長性鈍化や欧州債務問題の長期化など、下振れリスクを抱え不透明な経済環境が続くものと予想されます。

また、国内の自動車需要は今後大幅な増加は見込めず、また海外での現地生産化が進展しており、更なる輸出の伸びは期待することができないことから、厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループではグローバル化への対応として、インドネシア共和国にPT. Prospect Motorと合併でPT. FUJI 00ZX INDONESIAを新たに設立し、平成26年度下期の操業に向け準備を進め、お客様により近い場所での製造・販売と、きめ細かい技術サービスの提供を行い、顧客満足度の向上に努めてまいります。また中国子会社である富士気門(広東)有限公司では素材から鍛造、機械加工を行う一貫生産の本格的な運用を開始し、売上増加と財務状況の改善をはかってまいります。また国内では物造りにおけるマザー工場として、新技術・新工法の開発に加え、現場力向上を目指します。さらに原価低減活動による利益の確保、経費削減活動による固定費の低減などに取り組んでまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,559,500	20,559,500	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	20,559,500	20,559,500	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日 ~ 平成25年12月31日		20,559,500		3,018,648		2,769,453

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,532,000	20,532	-
単元未満株式	普通株式 15,500	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,559,500	-	-
総株主の議決権	-	20,532	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式165株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市三沢 1500番地の60	12,000	-	12,000	0.0
計	-	12,000	-	12,000	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,750,594	7,183,286
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 3,833,314	<sup>2</sup> 3,795,875
商品及び製品	549,913	641,500
仕掛品	476,218	557,142
原材料及び貯蔵品	606,512	657,005
その他	1,926,515	2,176,447
貸倒引当金	6,000	5,000
流動資産合計	15,137,065	15,006,253
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,850,431	2,832,061
機械装置及び運搬具（純額）	1,521,674	2,146,068
土地	2,553,467	2,769,507
その他（純額）	392,191	1,020,879
有形固定資産合計	7,317,762	8,768,515
<b>無形固定資産</b>		
のれん	7,383	6,080
その他	28,422	38,744
無形固定資産合計	35,806	44,824
<b>投資その他の資産</b>		
その他	1,501,757	1,742,773
貸倒引当金	29,405	27,205
投資その他の資産合計	1,472,352	1,715,568
固定資産合計	8,825,920	10,528,907
資産合計	23,962,985	25,535,161
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	<sup>2</sup> 1,586,865	<sup>2</sup> 1,765,105
未払法人税等	558,600	8,520
賞与引当金	51,437	74,729
役員賞与引当金	37,350	-
その他	<sup>2</sup> 812,383	<sup>2</sup> 1,235,544
流動負債合計	3,046,636	3,083,898
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	37,562	38,036
役員退職慰労引当金	3,375	3,000
環境対策引当金	24,499	24,499
その他	136,698	222,568
固定負債合計	202,134	288,102
負債合計	3,248,770	3,372,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	15,230,479	16,012,248
自己株式	5,896	6,062
株主資本合計	21,012,683	21,794,286
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	459,611	275,274
その他の包括利益累計額合計	459,611	275,274
少数株主持分	161,143	644,148
純資産合計	20,714,215	22,163,160
負債純資産合計	23,962,985	25,535,161

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,798,246	11,838,187
売上原価	9,311,236	9,364,791
売上総利益	2,487,009	2,473,395
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	462,998	538,772
賞与引当金繰入額	5,481	11,017
退職給付費用	48,460	34,182
その他	983,749	1,012,907
販売費及び一般管理費合計	1,500,688	1,596,878
営業利益	986,321	876,517
営業外収益		
受取利息	4,461	3,849
受取配当金	1,560	1,560
持分法による投資利益	43,878	183,968
受取賃貸料	37,982	29,843
為替差益	-	174,737
その他	32,958	40,986
営業外収益合計	120,840	434,944
営業外費用		
支払利息	26	12
固定資産除却損	7,522	35,456
為替差損	25,285	-
賃貸収入原価	18,571	11,984
その他	16,820	16,840
営業外費用合計	68,223	64,291
経常利益	1,038,937	1,247,170
特別利益		
固定資産売却益	-	326,568
特別利益合計	-	326,568
税金等調整前四半期純利益	1,038,937	1,573,737
法人税、住民税及び事業税	444,223	317,246
法人税等調整額	15,042	230,775
法人税等合計	429,181	548,021
少数株主損益調整前四半期純利益	609,757	1,025,717
少数株主利益又は少数株主損失( )	28,281	38,472
四半期純利益	638,038	987,245

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	609,757	1,025,717
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,862	56,675
持分法適用会社に対する持分相当額	18,467	141,816
その他の包括利益合計	26,329	198,491
四半期包括利益	636,085	1,224,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	660,860	1,171,582
少数株主に係る四半期包括利益	24,775	52,626

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)	
連結の範囲の重要な変更	
当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したPT.FUJI 00ZX INDONESIAを連結の範囲に含めております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

関連会社の借入金に対して、下記のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	
TRW Fuji Valve Inc.	165,519千円 (1,761千ドル)	TRW Fuji Valve Inc.	132,648千円 (1,259千ドル)

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等の処理

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度及び当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、下記の四半期連結会計期間末日満期手形等を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形及び売掛金	71,650千円	69,765千円
支払手形及び買掛金	9,093千円	9,656千円
流動負債 その他(未払金)	4,450千円	57,100千円
流動負債 その他(設備関係支払手形)	1,000千円	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
減価償却費	434,357千円	464,173千円
のれんの償却額	869千円	1,303千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	143,836	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	102,739	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	102,739	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金
平成25年10月28日 取締役会	普通株式	102,737	5.00	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	11,166,459	631,786	11,798,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,524	389,083	394,607
計	11,171,984	1,020,869	12,192,853
セグメント利益	906,403	48	906,452

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	906,452
セグメント間取引消去	79,869
四半期連結損益計算書の営業利益	986,321

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	11,270,181	568,006	11,838,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,104	398,073	403,176
計	11,275,284	966,079	12,241,363
セグメント利益又は損失( )	798,772	12,037	786,735

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	786,735
セグメント間取引消去	89,783
四半期連結損益計算書の営業利益	876,517

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	31円05銭	48円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	638,038	987,245
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	638,038	987,245
普通株式の期中平均株式数(株)	20,547,869	20,547,443

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月28日開催の取締役会において、第86期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当総額 102,737千円
- (2) 1株当たり中間配当金額 5円00銭
- (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月3日



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月30日

フジオーゼックス株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 今泉誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジオーゼックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジオーゼックス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。